

フランスオトコは 育み上手

ラジコン フランス大会で見た
文化振興のメカニズム

TRAVEL

femmeでも紹介しているラジコンの
世界大会。しっかり者の女性に支え
られた華やかな大人の遊びは、社会
的にきちんと設計されているもの
だった。homeでは、フランス流文化
を育む方法を「報告」。

文：橋本安夕香 写真：松本祥孝

パリシャルルドゴール空港からクルマで
約一時間半、初夏の緑が生き生きと映え
る田園風景の中を走り、到着したのは郊
外の小さな町だ。太陽の日差しは強いも
の、北海道とはほぼ同緯度に位置するだ
けに、そよ風は涼やか。ホテルに入ると、
すっかり日焼けしてこちらも生き生きと
している京商のスタッフに迎えられた。

二年に一度行われている同社主催のエ
ンジン付きラジコンカーの世界大会が開
催されるのだ。世界各国で行われる予選
を突破したトップドライバーたちだけが
招聘され、世界レベルで腕を競う。六回
目となる今回はフランス大会。舞台とし
て選ばれたのは、フランス国内でもトップ
と言われているMRTE(MINI RAC
ING TEAM ESSONNE)という
ラジコンサーキットである。実車に対して
はミミだが、本格的なレースチームなんだ
という自負が感じられる。

三日間にわたって行われた大会を通し
て、フランスに息づくラジコン文化とフラ
ンス社会の文化振興のメカニズムを垣間
見た。

